

サポートハートマーク 使用ガイドライン



見えない疾患・障害啓発プロジェクト

2018年1月17日初版

1. サポートハートマークの目的

サポートハートマークは、手助けが可能な「いわゆる健常者(以下、「支援者」という)」が使用することにより、障害や病気を持っていたり、けがを負っている人(以下、「当事者」という)が、支援を求めやすくなることを目的としたマークです。

当事者への理解を求めるツールとして、東京都が作成した「ヘルプマーク」や、特定非営利活動法人ハート・プラスの会が作成した「ハート・プラスマーク」が存在します。しかしながら、これらは当事者が使用して周囲に理解を求めるツールであり、「当事者である」ということを周りに知らせることとなります。その特性を悪用し、これらのマークを着用している方を狙った犯罪や、暴言・暴力が発生している悲しい現実があります。

この問題への対応として、見えない疾患・障害啓発プロジェクトでは「支援者が何らかの意思表示をしていれば、当事者も安心できるのではないか」と考え、サポートハートマークを作成しました。

一般での使用のほか、例えば鉄道の駅職員や、公共施設のスタッフが名札に着用することも可能です。実際に当プロジェクトの事務所のある東郷町では、役場の職員の使用や町民会館、コミュニティバスで掲示を行っています。また災害時にも、支援団体やボランティアが着用することで、「誰が支援者なのか」が明確にわかるようになり、混乱の抑止効果が期待できます。

2. マークの使用方法

サポートハートマークは、**クリエイティブ・コモンズ・ライセンス BY-NC-ND（表示 - 非営利 - 改変禁止）4.0** で提供されています。具体的にお守りいただきたい事項は、次の通りです。

■表示

以下の内容を表示してください。

- サポートハートマーク(タイトル)
- 疾患・障害を持つ方のサポートをする・お手伝いするという内容の文章
- 見えない疾患・障害啓発プロジェクトの作成したマークであること

■非営利

サポートハートマークを、グッズの販売など、利益を得ることを目的として使用しないでください。

なお、サポートハートマークを使用したグッズを販売したい場合は、個別に許可をお出ししますのでご相談ください。

■改変禁止

サポートハートマークは、縦横の比率を変えたり、文字やイラストを重ねたり(例外あり)、色味を変えたりしないでください。なお、アレンジ例を次ページに掲載しています。ご参考にしてください。

■その他

- 「1. サポートハートマークの目的」をお読みになり、目的外の使用はおやめください。

- メールでご一報くださると幸いです。
- サポートハートマークは、素材ではありません。単に飾りつけ・デコレーションの目的で使用しないでください。

■アレンジの例



サポートハートマークを含めて一つの作品になっています。
このように、一般への周知の目的、親しみを持ちやすくするためのアレンジは大歓迎です。
アレンジ作品をお作りになった場合は、当プロジェクトまでお知らせいただきますようお願いいたします。
また、使用可否の判断は当プロジェクトまでお問い合わせください。

■ロゴなど

サポートハートマークのフォントは、ほにゃ字 Re です。

見えない疾患・障害啓発プロジェクトのフォントは、瀬戸フォント SP_sjis 版です。

3.問い合わせ先

見えない疾患・障害啓発プロジェクト実行委員会

project-all@mienaipeoject.jp

ウェブサイト

<http://mienaiproject.jp>

サイト上のお問い合わせフォームからでもお問い合わせいただけます。